

■ デジタルとエネルギーの道の整備促進

北海道の発展を支える新たなインフラとして海底光ケーブルと送電ケーブルの整備を促進します。

(政策展開の方向性)
 デジタル化やエネルギーの確保、脱炭素化への取組は、これからの社会経済活動に不可欠であり、未来に向けて大きな変革をもたらし、北海道の価値を高めていく原動力となります。これらの取組の支える重要なインフラとなる北海道と本州を結ぶ海底光ケーブルと海底送電ケーブルの整備促進とともに、国際海底光ケーブルの本道への陸揚げの誘致に向けて取り組めます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
省エネルギーの促進と新エネルギーの最大限の活用	○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換とともに、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12～R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催、北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催、洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について国へ要望(R5.6)	0502
災害にも活用できるエネルギー事業環境整備	○再エネ導入拡大のための電力基盤増強、海底直流送電の着実な整備など、国への要望を実施(R5.5)【北海道と本州を結ぶ海底直流送電について、「GX実現に向けた基本方針(R5.2)」で2030年度を目指して整備を進めること、また、「広域系統長期方針(R5.3)」で日本海ルートや太平洋ルートなどの整備に係るシナリオが提示された】 ○電力インフラのレジリエンス強化に向けた取組の推進を国に求めたほか、災害時における円滑な燃料供給に向け重要施設情報の更新を実施	0503
リスク最小化に向けた企業の誘致推進	○カーボンニュートラルやデジタルトランスフォーメーション、新しい働き方といった社会経済情勢の変化を踏まえながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問等を通じ、本道の立地優位性をPRし、誘致活動を実施【セミナー・展示会等(トップセールス含む)～R4:15事業、R3:12事業、R2:8事業、企業訪問～R4:830件、R3:579件、R2:603件】	0504
企業誘致の推進・集積の促進	○自然災害の少なさや人材確保のしやすさに加え、恵まれた食や豊かな自然環境、豊富な再生可能エネルギーといった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を実施【セミナー・展示会等(トップセールス含む)R4:17事業、R3:12事業、R2:8事業、企業訪問R4:830件、R3:579件、R2:603件】 ◇北海道と海外・首都圏を結ぶ光海底通信ケーブルの整備支援について国に要望(R5.6)	0508
環境・エネルギー産業の振興	○洋上風力発電の導入促進などに向け、地域への理解促進、関係機関による意見交換、国への要望を実施 住民説明会等(R4.12～R5.2:7回)やセミナー(R5.2)の開催 北海道洋上風力推進連携会議(R5.6)の開催 洋上風力発電の導入加速化と関連産業の集積促進等について、国へ要望(R5.6)	0512

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ(「◇～」)より引用・作成